

森林環境学習指導案

対象学年：5，6年生

教科名：行事

場 所：校庭南側森林等

指導者：5，6年担任・森林組合から4名のGT

1 単元名 森林環境学習（きのこ植菌）

2 本時のねらい

本時では、きのこの栽培方法である原木栽培を実施し、実際のきのこの植菌作業を行いながら、林業と食料という関連について考察していく。また、伐採された木がどのように利用されているかを知るとともに、その後の山野の利用や林業について関心を持たせる。

3 学習過程

学習活動・内容	時間	● 指導上の支援
1 問題を知る。 ・GTの紹介 ① 原木栽培の方法を知り、きのこ栽培と林業の関係が深いことを知る。	5分	●これまでの学習を振り返り、きのこ栽培と林業について想起させる。なお、6学年は昨年度も実施しているので、児童に説明させたい。
きのこの植菌を通して、林業と食糧生産について考えよう		
2 課題をとらえる。 ㊦きのこの植菌をしよう	5分	●本時のめあてを確認し、実際の作業を通してきのこ植菌や林業の他、勤労体験や地元産業を知りながら、キャリア教育や郷土学習にもつなげていきたい。
3 作業をする。 ① 作業手順を知る。 ・GTから作業手順を聞く。 ② 安全に注意して作業する。 ③ 作業を通して感じたことを話し合う。	27分	●安全面に注意して作業させる。全児童が体験できるよう、事前に原木などの準備、作業台、ドリルの準備を行う。 ●原木にシイタケ菌を植え付ける。仮伏せまで行う。 ●シイタケの原木栽培には、木材を生産する林業が欠かせないことに気づかせたい。
5 まとめる。 ㊧シイタケ栽培にも木材は重要な役割を果たしている。	5分	●GTにあいさつをしながら、作業を通して学習したことを全員で振り返らせる。
6 次時の連絡をきく。	3分	●次時は、間伐体験を行うことを予告する。

